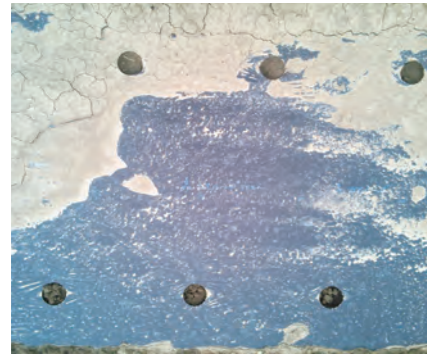


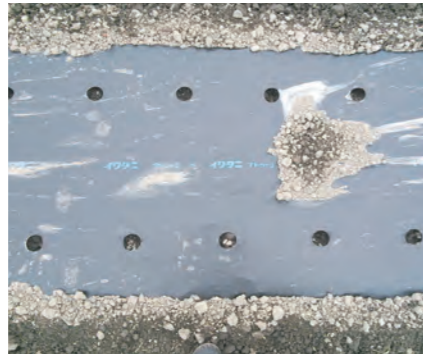
# 生分解性マルチの効果確認試験

JAなんぼろ

(株)城地農産 代表 城地 英紀



展張後 現行品



展張後 試験品①



展張後 試験品②



展張後 全体



鋤き込み後 現行品



鋤き込み後 左 試験品① 右 現行品

## 試験目的

生分解性マルチの効果確認試験

## 試験作物 及び品種

スイートコーン

## 試験資材 及び数量(規格)

ナトゥーラ(0.016mm×95cm×800m) 黒 1本  
Bio-PAL(0.012mm×95cm×800m) 黒 1本

## 慣行資材

カエル一子(0.020mm×95cm×800m) 黒

## 栽培方法

<b>定植日</b>	<b>収穫日</b>	<b>【栽植密度】</b> 畝幅：200cm 株間：27cm
慣行区：5月30日 試験区：5月30日	慣行区：8月30日 試験区：8月30日	

## 試験区面積

14,850㎡

## 試験結果

### (1)作業性について(慣行品との比較)

どちらも薄肉化されていたため現行品より軽くなって作業性は向上した。

展張作業については、ナトゥーラは現行品と変わらずに展張することができたが、Bio-PALについては展張する際に裂けが生じた。

### (2)作物の生育状況または、収穫への影響

試験品、慣行品ともに生育には差は見られなかった。

### (3)資材の強度・耐久性・崩壊性について

Bio-PALが展張作業時に裂けやすかったことから強度は劣っていると思われる。

崩壊については、ナトゥーラは現行品と変わらないが若干早いように思われるが、鋤き込みの時期を考えればちょうど良い分解速度だと思われる。

### (4)促成・抑制効果について

試験区・慣行区での差は見られなかった。

### (5)保温効果について

試験区・慣行区での差は見られなかった。

### (6)雑草・病害虫の発生について

試験区・慣行区での差は見られなかった。

## モニター感想

Bio-PALは形状が細く軽いので運搬や機械への装着がしやすい反面、展張時に手で持った部分が裂けることがあった。慣行品と同等の展張作業ができるよう改良されれば使用を検討したい。

ナトゥーラは、慣行品よりも軽く作業性が良いほか、

マルチの強度や作物の生育も慣行品と同等だった。分解についても慣行品に比べ鋤き込み後の分解が優れる印象があるため継続して確認していきたい。

## JA担当者の感想(資材課 犬養 氏)

当地区のスイートコーン生産者は長尺の生分解性マルチを使用しており、薄肉品使用による省力化とコスト低減を図るため、今回の試験を実施した。試験品はいずれも薄肉品で慣行資材よりも軽いことから、作業省力化の評価に繋がった。

Bio-PALは、最も軽く運搬や保管の面で優れたが、展張作業で裂けが生じたため強度が課題となった。

ナトゥーラは、慣行資材に比べ鋤き込み後の破片が細かく、分解性が優れている印象があった。

今回の試験では、各試験資材ともに慣行資材と同程度の生育を確認することができ、薄肉品を使用しても現行と同等の生産ができる可能性が高いと判断できた。

## 今後の使用について

継続して使用したい。  
継続して使用しデータを集積していきたい。

## 将来希望する資材について

Bio-PALについては、慣行資材とほぼ同等の生育が認められたことから、同程度の厚みで展張作業に支障のない生分解性マルチを期待している。

1 高温対策

2 青虫忌避効果

3 クリンテート

4 機能性マルチ

5 育苗資材

6 酪農資材

7 省力化資材

8 その他